

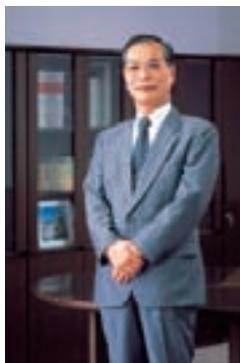
株主・投資家のみなさまへ

## 第37期 年次報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



 **イズミ産業株式会社**  
**JASDAQ**  
証券コード2924



株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第37期の事業の概況をご報告申し上げるにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

食品業界におきましては、相次ぐ産地や賞味期限の偽装問題により「食の安全・安心」に対する消費者の意識はより一層高まっております。更には、雇用・所得環境の悪化により、消費者の生活防衛意識・節約志向が強まったことで個人消費が急速に冷え込み、大変厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、原油価格や穀物価格の高騰等により鶏卵価格が上昇したため、主原料である鶏卵の買付単価が大幅に上昇しました。その原価高をカバーすべく創業以来初となる一斉に販売価格の改定を実施しました。

また、原油価格の高騰等による配送運賃や水道光熱費の増加があったものの、卵殻のリサイクルによる廃棄物の削減や製造体制の見直しなど人員の最適化を図り人件費等のコスト低減に努めてまいりました。

また、当期の業績は前期の水準を維持することが出来ました。当期の期末配当金につきましても、前期同様8円とさせていただきます。

今後につきましては、食の安全・安心がこれまで以上に求められる中で、当社は「安全・安心」な製品の安定供給責任を果たし、お取引先との信頼関係を強化してまいります。

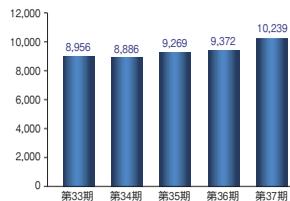
また更なる新規得意先への販路拡大とともに、最良の原料調達と在庫政策を行い、全社一丸となって業績を向上させるべく努力いたす所存であります。

株主の皆様方におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

代表取締役社長 藤井徳夫

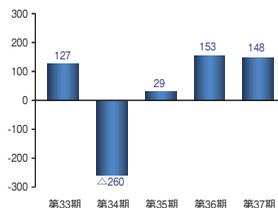
## 売上高（単位：百万円）



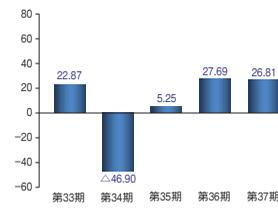
## 経常利益（単位：百万円）



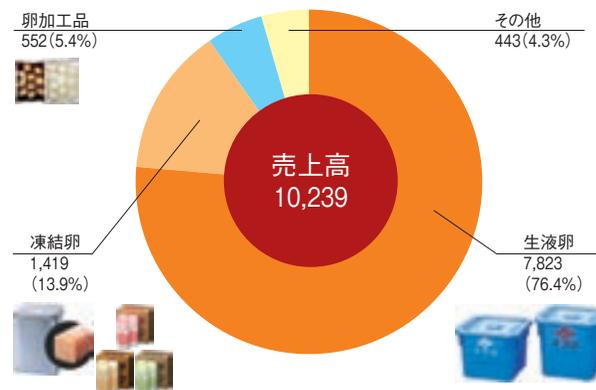
## 当期純利益（単位：百万円）



## 一株当たり当期純利益（単位：円）



## 売上構成（単位：百万円） ※百万円未満は切捨て



## 当期の業績

当期におけるわが国経済は、上半期は原油・穀物をはじめとする原材料価格の高騰による物価上昇圧力の高まり等により企業収益や個人消費が低迷しました。下半期は米国発の金融危機が世界経済へ波及したことによる急激な円高や株価下落により企業収益や雇用情勢が急速に悪化し、景気の後退が鮮明になりました。

食品業界におきましては、相次ぐ産地や賞味期限の偽装問題により「食の安全・安心」に対する消費者の意識はより一層高まっております。更には、雇用・所得環境の悪化により、消費者の生活防衛意識・節約志向が強まったことで個人消費が急速に冷え込み、大変厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社におきましては、大手鶏卵販売会社による鶏卵販売価格の改定や景気の減速等による鶏卵の消費動向の変動から、鶏卵相場が夏場高く推移するなど大きく変動したため購買環境が大変厳しいものとなり、主原料である鶏卵の買付単価が大幅に上昇しました。

販売面につきましては、既存得意先への安定供給に注力するため新規拡販を抑え、また販売価格の改定を行ったこともあり、販売数量は前期に比べ6.3%減少いたしました。売上高につきましては、鶏卵相場（東京M基準値）の平均（4～3月）が前年同期間に比べ15.3%（約26円）高く推移したことによる販売単価の上昇や価格改定により、当期の合計売上高は前期に比べ9.3%増加し10,239百万円となりました。

当社の商品構成別にみますと、主力製品である液卵売上高は前期比8.6%増の9,243百万円となりました。外食向けのゆで卵を含む加工品売上高は前期比10.8%増の552百万円となりました。その他売上高は、鶏卵販売の増量により前期比22.9%増の443百万円となりました。

損益面につきましては、原料高による原価の上昇をカバーすべく販売価格の改定を行いました。また、原油価格の高騰等による配送運賃や電気・ガス・重油等の水道光熱費が増加しました。更には、販売数量の減少により製品在庫量が増加し、保管料及び倉庫間移動の運賃が増加しました。しかしながら、卵殻のリサイクルによる廃棄料の削減、製造体制の見直しなど人員の最適化を図り人件費等のコスト低減に努めました。

この結果、営業利益は前期に比べ2.2%増の321百万円、経常利益は同5.7%減の301百万円、当期純利益は同3.2%減の148百万円となりました。

## 今後の見通しと対処すべき課題

今後のわが国の経済見通しといたしましては、原油価格は大きく下げに転じ、また政府の経済対策の効果に一定の期待が持たれているものの、世界的な経済危機の影響は大きく、雇用不安からくる国内需要の落込みとも重なり、国内景気は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

鶏卵業界におきましては、鳥インフルエンザの再発懸念や配合飼料価格の変動を見ながら、今後の鶏卵市況の動向に注目していく必要があります。

当社におきましては、下記1.～5.に記載します部門ごとの施策を進めていくことによって、収益力の強化及び企業価値の向上を図ってまいります。

1. 販売部門においては、お客様が求める品質の商品を、安定供給することを使命とし、適正価格でご提供できるよう、配送ルートの見直し等合理化に努めてまいります。また、お客様に適したサービスを提供できるように、お客様満足度調査を実施し、業務改善を図ってまいります。

2. 購買部門においては、国内での鳥インフルエンザ再発懸念や飼料価格変動及び養鶏農家の寡占化が進むなど、購買環境は大変厳しくなると予想されます。このような状況を踏まえ、需要と供給のアンバランスを調整する需給調整を柱とする「購買の基本」に沿った購買体制を再認識し、仕入先の更なる拡大や原料定期仕入比率の向上、適切な備蓄量の確保を行い、当社が経営の第一目標としてのお客様への安定供給責任を果たしてまいります。

3. 製造部門においては、食品メーカーとして品質を第一とし、お客様へより安全・安心な製品を提供すべく努力をしてまいります。また、品質保証体制の継続的な改善を図るため、作業手順書・マニュアルの整備はもちろんのこと、製造会議・安全衛生委員会を充実させ、従業員の衛生意識の向上、食品衛生法関連の法令並びに規制を遵守させるための教育に力を入れてまいります。また、6Sの徹底、作業環境の改善等を実施し更なるレベル向上を図ってまいります。

4. 研究開発部門においては、当社の主力商品である液卵の品質改良や新製品の開発に取組んでおります。お客様のニーズが高い商品に的を絞って取組んでまいります。また、県や国の研究機関や大学との連携を図って、鶏卵の新規用途の可能性や廃棄物の有効利用のための研究を行いたいと考えております。

5. 管理部門においては、社員がコスト削減や業務改善について提案する「提案制度」を設けており、常に業務改善やコスト削減に取組む体制にしております。また、会社と役職員各々のベクトルを完全に一致させるため、目標管理制度を設け、全社員が目標に向かって進めるように、「経営の見える化」を行い、目標の進捗状況を意識させモチベーションを高めながら力の結集を図ってまいります。更には、当社とシナジー効果を見込める業務提携や買収なども視野に入れ、業容の拡大を図ります。

## 比較貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科目	前期 (平成20年3月31日現在)	当期 (平成21年3月31日現在)	増減率
(資産の部)			
流動資産	2,258,524	2,737,499	21.21%
固定資産	4,197,554	3,940,919	△6.11%
有形固定資産	3,806,354	3,598,182	△5.47%
無形固定資産	8,730	10,796	23.68%
投資その他の資産	382,469	331,939	△13.21%
資産合計	6,456,078	6,678,418	3.44%
(負債の部)			
流動負債	1,910,923	2,275,147	19.06%
固定負債	2,173,192	1,933,468	△11.03%
負債合計	4,084,116	4,208,615	3.05%
(純資産の部)			
株主資本	2,383,868	2,488,359	4.38%
資本金	455,850	455,850	—
資本剰余金	366,322	366,322	—
利益剰余金	1,565,967	1,670,495	6.67%
自己株式	△4,271	△4,308	—
評価・換算差額等	△11,905	△18,555	—
その他の有価証券評価差額金	△11,905	△18,555	—
純資産合計	2,371,962	2,469,803	4.12%
負債及び純資産合計	6,456,078	6,678,418	3.44%

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

### POINT

	対前期比
■流動資産	+478百万円
現金及び預金	+69百万円
受取手形及び売掛金	△137百万円
たな卸資産	+542百万円・・・販売数量減少による在庫増加及び、相場高の影響による在庫単価高。
■固定資産	△256百万円
有形固定資産	△208百万円・・・主な要因は、減価償却による減少。
■流動負債	+364百万円
短期借入金	+518百万円・・・在庫増加に伴う借入。
■固定負債	△239百万円
長期借入金	△278百万円・・・返済による減少。
■純資産合計	+97百万円・・・当期純利益の計上と配当金の支払等。

## 比較損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	前期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	当期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	増減率
I 売上高	9,372,242	10,239,345	9.25%
II 売上原価	7,705,551	8,551,049	10.97%
売上総利益	1,666,691	1,688,296	1.30%
III 販売費及び一般管理費	1,351,902	1,366,633	1.09%
営業利益	314,788	321,662	2.18%
IV 営業外収益	45,160	22,968	△49.14%
V 営業外費用	39,936	42,701	6.92%
経常利益	320,011	301,929	△5.65%
VI 特別利益	9,994	5,575	△44.21%
VII 特別損失	1,837	2,794	52.03%
税引前当期純利益	328,168	304,710	△7.15%
法人税、住民税及び事業税	172,979	148,431	△14.19%
過年度法人税等	24,800	—	—
法人税等調整額	△23,500	7,300	131.06%
当期純利益	153,888	148,978	△3.19%

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

### POINT

	対前期比
■売上高	+867百万円・・・創業以来初の100億円超。 鶏卵相場(東京M基準)が前年同期間(4～3月)比15%増。価格改定を9月より実施した事に因る。
■売上原価	+845百万円
・材料費	+1,149百万円・・・上述の通り、鶏卵相場が高く推移しましたが、安定供給を行うため積極的な原料調達を実施した事に因る増加。
・水道光熱費	+25百万円・・・原油価格の高騰等により増加。
・減価償却費	△51百万円・・・耐用年数の変更、設備投資減少等により減少。
・環境衛生費	△42百万円・・・卵殻のリサイクル化により減少。
■販売・管理費	+14百万円
・運賃、保管料	+37百万円・・・原油価格の高騰、製品在庫等増加により増加。

# 株主資本等変動計算書

# キャッシュ・フロー計算書 (要約)

## 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本剰余金		利益剰余金			
	資本金	資本準備金	利益準備金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
平成20年3月31日残高	455,850	366,322	40,200	48,192	1,275,000	202,575
事業年度中の変動額						
剰余金の配当						△44,451
固定資産圧縮積立金の積立				3,027		△3,027
固定資産圧縮積立金の取崩				△6,056		6,056
別途積立金の積立					50,000	△50,000
当期純利益						148,978
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△3,029	50,000	57,556
平成21年3月31日残高	455,850	366,322	40,200	45,162	1,325,000	260,132

(単位：千円)

項目	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金 その他利益剰余金 利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金		
平成20年3月31日残高	1,565,967	△4,271	2,383,868	△11,905		2,371,962
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	△44,451		△44,451			△44,451
固定資産圧縮積立金の積立	—		—			—
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—			—
別途積立金の積立	—		—			—
当期純利益	148,978		148,978			148,978
自己株式の取得		△36	△36			△36
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				△6,650		△6,650
事業年度中の変動額合計	104,527	△36	104,490	△6,650		97,840
平成21年3月31日残高	1,670,495	△4,308	2,488,359	△18,555		2,469,803

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

## キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：千円)

科目	前期 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)	当期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,123	△129,920
投資活動によるキャッシュ・フロー	△364,199	△35,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,732	195,447
現金及び現金同等物の増減額	△264,807	29,951
現金及び現金同等物の期首残高	590,499	325,691
現金及び現金同等物の期末残高	325,691	355,642

(注) 千円未満は切り捨てて表示しております。

### キャッシュ・フローの状況

当期における「現金及び現金同等物の期末残高」は、前期に比べ29百万円増加し、355百万円となりました。

当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ301百万円減少し129百万円の支出となりました。これは主に、税引前当期純利益304百万円の計上や減価償却費234百万円、売上債権の減少126百万円等の資金の増加が、仕入債務の減少32百万円、たな卸資産の増加542百万円、法人税等の支払い261百万円等による資金の減少を下回ったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ328百万円増加し35百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産取得による支出31百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ267百万円増加し195百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金の増加550百万円、長期借入金の減少358百万円によるものであります。

## 会社概要

(平成21年3月31日現在)

商号	イフジ産業株式会社 (英訳名：Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
設立年月日	昭和47年10月3日
資本金	4億5,585万円
本社所在地	〒811-2312 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 TEL092-938-4561 (代)
従業員数	89名 (臨時従業員は除く。)
事業部	本社 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 福岡事業部 TEL 092-938-4561 関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合藪3-1 TEL 0774-99-4801 名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町1-8-7 TEL 0566-72-1611 関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17 TEL 029-248-2311

## 役員

(平成21年6月25日現在)

代表取締役社長	藤井 徳夫
常務取締役	仁田坂 功
常務取締役	池田 賢次郎
常務取締役	藤井 宗徳
取締役	坂本 勇
常勤監査役	高宮 哲郎
監査役	具島 輝幸
監査役	酒井 善浩

- 詳しい情報はホームページをご覧ください。  
(企業情報・IR情報など)

<http://www.ifuji.co.jp>

イフジ動画配信中!



## ■ 主要な事業内容

当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「凍結卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称されております。

## ■ 液卵の利便性 (メリット)

- ① 作業効率…割卵の手間が省け効率的・衛生的です。
- ② 品質の安定性…バラツキが少なく製品の均質化が図れます。
- ③ 経 済 性…鶏卵相場による価格変動に伴って起こる原料費率の不安定さを抑えることができます。
- ④ 貯 蔵 性…凍結状態であれば1~2年の保管も可能です。
- ⑤ 作 業 環 境…殻付卵に比べ容積が1/3程度なので、保管スペースが小さくて済みます。また、卵殻の発生がないため作業環境がよくなります。

## ■ 商品ラインアップ

### ■ 液卵・凍結卵



### ■ 凍結卵ミニパック

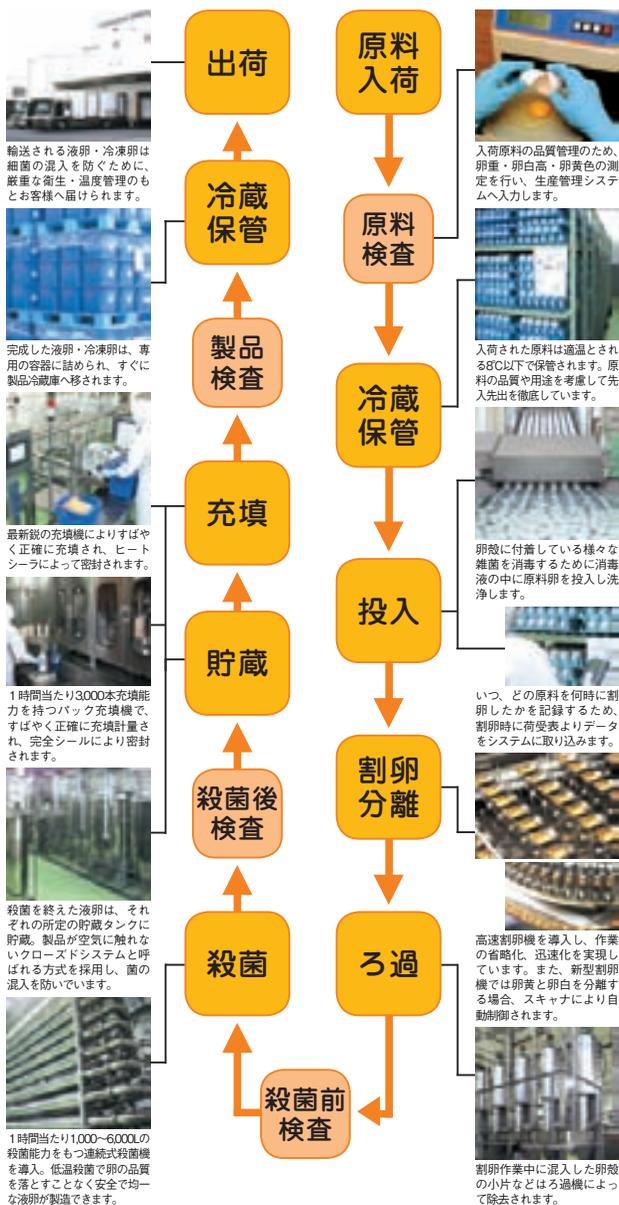
### ■ 茶碗蒸しベース



## ■ 液卵・冷凍卵の種類と用途

品 種	種 別	殺菌の有無	生・凍結	主 な 用 途
全 卵	ホール	未殺菌	生	ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子
	全卵	殺菌・未殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し
	加糖全卵	殺菌	生・凍結	ケーキ、洋菓子
	調整全卵	殺菌	生・凍結	パン、ビスケット、クッキー
卵 黄	卵黄	殺菌・未殺菌	生	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	殺菌	凍結	マヨネーズ
卵 白	卵白	殺菌・未殺菌	生・凍結	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	未殺菌	生・凍結	洋菓子、和菓子

## ■液卵・冷凍卵の生産工程（入荷から出荷まで）



■より精緻な品質管理体制を確立  
 平成11年度、食品衛生法施行規則等の一部改正により、鶏卵・液卵の表示基準と規格基準が定められました。それに伴い、品質管理のさらなる充実を目指して製造工程における危害分析を行い、重要管理点を設け常にモニタリングすることで、より安全で衛生的な液卵・凍結卵を提供できる体制を確立。また、品質管理の基本である検査精度を確実にするために、第三者機関による外部精度管理にも努めています。さらに、安全衛生面の社員教育も徹底しています。



## ■24時間365日、

**徹底した温度管理体制を構築**  
 液卵・凍結卵などの原料となる鶏卵は、入荷後すぐに5℃以下の冷蔵庫に保管。その冷蔵庫には温度監視センサーが取り付けられ、24時間体制で監視されています。割卵後の液卵は、殺菌機により適正な温度で殺菌。その殺菌機には六打点式記録計が取り付けられ、常に殺菌温度は監視されています。殺菌後の液卵は、氷蓄熱方式で作られた0℃の冷却水により、急速に3℃まで冷却され貯蔵。充填後すぐに製品専用冷蔵庫に保管され、温度記録計を搭載した冷蔵車でお客様までお届けしています。



## ■安心の創造。

この挑戦に終わりはありません  
 当社では、安全で高品質の液卵・凍結卵を製造するために、HACCPの考え方に基いてゾーニングを明確化し、生産設備の配置を考慮し、汚染区と清潔区に区分して衛生管理を行っております。また、設備の稼働状況や工程管理をシステム化し、チェック体制を強化することにより、効率的に保守メンテナンスを行っております。このように、お客様へより安全で安心な製品を提供するため、積極的に最新鋭設備を導入し、衛生的・効率的に生産できる工場を目指しています。

## 新商品のご紹介

### 【PCWシリーズのご紹介】

「PCW」とは主に洋菓子の原料となる卵白を加熱殺菌することにより、安全を追求しつつ、原料としてより使い易くした商品です。今回、用途に応じて2種類をご用意致しました。

PCW00：すばやい泡立ちでしっとりしたスポンジ食感。

PCW01：とにかくボリュームある泡、コシのある泡。

PCW00



PCW01



内容量・荷姿：1kg×6本入（ダンボール箱詰）

## 環境への取組み

第36期までは卵の殻を肥料・飼料用などに販売もしくは廃棄処分しておりました。第37期より福岡・関西事業部へ卵殻乾燥粉砕機を設置し、「株式会社グリーンテクノ21」へ提供しております。その後、学校等のグラウンド用白線（フィールドライン）、野球場で使われるロジンバック、チョークなどに利用されています。

●卵殻乾燥粉砕機



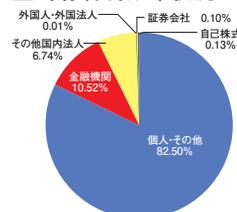
●フィールドライン



■発行可能株式総数	16,792,000株
■発行済株式の総数	5,563,580株
■株主数	2,610名
■大株主（上位10名）	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
藤井 宗徳	784	14.10
藤井 徳夫	615	11.06
藤井 泰子	569	10.24
藤井 智徳	408	7.34
宇高 紫乃	396	7.13
株式会社福岡銀行	229	4.13
株式会社みずほ銀行	125	2.25
宇高 真一	122	2.20
藤井 将徳	115	2.07
宇高 和真	113	2.04

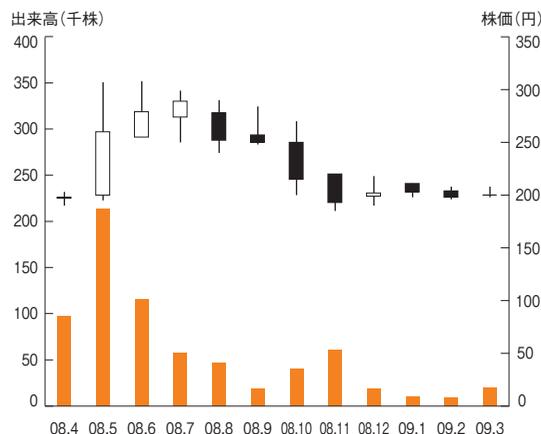
### ■所有者別分布状況



所有者区分	持株数(千株)	比率(%)
個人・その他	4,590	82.50
金融機関	585	10.52
その他国内法人	374	6.74
自己株式	7	0.13
証券会社	5	0.10
外国人・外国法人	0	0.01

(注) 千株未満は切り捨てて表示しております。

### ■株価及び株式出来高の推移



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会関係／3月31日 期末配当金支払株主確定関係／3月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は9月30日といたします。
公告掲載方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 (〒105-8574) 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社証券代行部
同取次所	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

## お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。  
フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)  
ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 株主ご優待について

贈呈基準	毎年3月31日現在の株主及び実質株主に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年1回、以下の基準により贈呈いたします。 株式会社数100株以上1,000株未満 一律500円 (100円券×5枚) 株式会社数1,000株以上 一律2,000円 (100円券×20枚)
利用方法	全国の主な百貨店及びスーパー等で卵の購入の際利用できます。
有効期限	発行日から5年
取扱店舗	全国の主な百貨店及びスーパー等 (詳しくは同封する書類に記載)



# イフジ産業株式会社

福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200-1 〒811-2312

TEL 092-938-4561 (代) FAX 092-938-5537

URL <http://www.ifuji.co.jp>